

科目名		インテリア実務			
担当教員		明治みずほ		実務授業の有無	無
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	2年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	講義	時間数	32時間
授業概要、目的、授業の進め方	建築物のコストの成り立ちを理解する。設計でも施工でも避けて通ることのできない業務であるため、実践に即した形で理解を進める。「解説→演習」の形式でテーマの習得を目指す。				
学習目標 (到達目標)	各工種のうち、インテリアについて、これだけは知っておかねばならないという工種に絞り、積算の仕方を会得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布プリント				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	建築物の企画～施工までの流れ		建築物が計画され基本設計・実施設計、見積・入札・契約・受注に至る過程がわかる		
2	数量と単位		積算特有の決まりごとが理解できる		
3	積算実践 (内部仕上げ)		もっとも関わる頻度が多い内部仕上の数量が正確に拾える		
4	積算実践 (家具)		造作家具の積算、見積について学ぶ		
5	積算実践 (窓装飾)		窓装飾の積算、見積について学ぶ		
6	インテリアエレメントの種類		各種インテリアエレメントについて学ぶ		
7	見積作成		内部仕上と各インテリアエレメントを合わせた見積書の作成		
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点	課題			電卓を使う演習が多いため、必ず用意する。積算はコストを左右する重要な業務でありながら、社会では「できて当たり前」と考えられているため、マスターすることが基本。各テーマごとの演習が重要なので、理解するまで確実に取り組む。	
10 %	90 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					